



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないと損する工場メンテのツボ

塗料の種類(前編)

第十一回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第十一回目となる今回は“塗料の種類(前編)”をテーマにお届けします。

今回のテーマは“塗料の種類”です。まず、工場などの外壁、屋根、床の塗装に使用される塗料は、大きく分けて、アクリル塗料、ウレタン塗料、シリコン塗料、フッ素塗料4種類あります。今回はこれらの塗料の特徴について説明します。

まず、アクリル塗料ですが、これはベトナムで最も良く使用されている塗料です。特徴としては、価格が安いことと耐用年数が短いことが挙げられます。アクリル塗料を使用した場合、長くて5年に1度は塗り替えが必要になりますので、長期的に見るとコストが高くなります。5年以内に解体や色の変更などがある場合は最適な塗料です。

2つ目のウレタン塗料は、ウレタン系樹脂を主成分とする塗料全般をいいます。ウレタン塗料は、塗膜が柔らかく密着性に優れた塗料です。また、ウレタンは光沢があり弾力性が高いので、木部や塩ビ製の雨樋などの塗装に適しています。耐候性が高く防水性能もあるので屋外などの防水工事などに使われることもあります。耐久性もアクリル塗料より高く、正しい方法で塗装を行えば7年程度は塗り替えの必要がありません。ベトナムでは高級塗料として扱われています。

3つ目のシリコン塗料は、日本の外壁塗装で、最もよく使用されている塗料です。シリコン系塗料の耐久年数は12年～15年となっており、4種類の塗料の中では、最もコストパフォーマンスに優れた塗料となっています。雨や泥を弾くためのコーティングも

できるため、塗装後も長期に渡った美観が保たれます。

4つ目のフッ素系塗料は、4種類の中で最も耐久性の高い塗料で、外壁塗装に求められる耐熱性や耐寒性にも優れた効果を発揮します。しかし、価格も非常に高価な為、特別な場合を除いて、外壁塗装には、あまり使用されていません。

現在、ベトナム国内で製造されている塗料は、アクリル系塗料とウレタン系塗料のみで、シリコン系塗料とフッ素系塗料は、海外から輸入する必要がありますので、更に割高になります。外壁塗装に使用される塗料でベトナムで最も普及しているのが、アクリル系塗料で、全体の95%以上を占めています。上記の通り、塗料の種類によって価格と耐用年数が異なりますので、塗装する場所に応じて最も適切な塗料を選択することが重要です。

種類	平均耐久年数
アクリル系塗料	3-5年
ウレタン系塗料	5-7年
シリコン系塗料	7-10年
フッ素系塗料	13-10年

●一番塗装の特徴

一番塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローコスト企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することもございません。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。



撥水型塗料



通常塗料

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい!

次回は塗装の種類(後編)をお伝えします。

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底